

令和7年度 南房総市介護保険事業運営協議会第3回会議 議事要旨	
日時	令和8年3月6日(金) 15:00~15:50
場所	三芳保健福祉センター 2階 集会室
出席者	<p>【委員】 堀江委員、川上委員、田中委員、鈴木委員、高梨委員、加瀬委員、青木委員、伊勢田委員、片岡委員、小汐委員、伊藤委員、中村委員、渡邊委員</p> <p>【事務局等】 小野保健福祉部長、目良高齢者支援課長、角田高齢者支援課長補佐、高梨係長、木村主事(介護保険係)、佐藤係長(高齢者福祉係)、笹子係長、鈴木主任保健師(地域包括ケア係)、渡邊健康推進課長、在原健康推進課長補佐、(株)ぎょうせい 酒井氏、奥江氏</p>
欠席者	岡山委員
開催形態	公開
内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶</p> <p>3 報告</p> <p>(1) 指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について</p> <p>(2) 南房総市第11期高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画に関するアンケート結果について(速報)</p> <p>(3) 地域包括支援センター運営分科会からの報告について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
報告等	<p>1 報告</p> <p>(1) 指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について (事務局) 指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について説明。 — 質疑・応答なし —</p> <p>(2) 南房総市第11期高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画に関するアンケート結果について(速報) (株)ぎょうせいから、南房総市第11期高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画に関するアンケート結果について(速報)を説明。</p> <p>○片岡委員 アンケートの自由意見から大体の問題点はわかったが、それをもとに市が高齢者や障害をもっている方に対して、何をどのくらいできるのかを教えて欲しい。特に一番意見の多かった交通手段・移動支援について、移動手段を考えていただけるのか。老人クラブでも、サロン等の集まりをしたいが、移動ができないのでやめにしようなどの話がでてきている。</p>

どれでも、市がもう少しできそうだということを知りたい。

○事務局（健康推進課）

生きがい・交流の場について回答する。サロンや老人クラブなどで、保健師が健康相談やゲーム的なものを一緒にやらせていただいている。今年から小人数でも来て欲しいとの要望があれば伺うのでお声掛けいただきたい。

健康維持については、保健師が健康相談や健康講話を行っているので、お声掛けいただきたい。要望を伺いながらニーズにあった活動をしていく。

○事務局（高齢者支援課）

交通手段の確保について課題があることは把握している。公共交通の担当は他部署であるが、その部署と連携して地域に合った公共交通のあり方、また、それ以外でも高齢者への直接的な支援について、こちらの協議会の場も含めて検討し、進めていきたい。

特別養護老人ホームの待機者は近年減少の方向となっている。待機時間の短縮は、施設との兼ね合いがあり、市が直接的にできないが、床数を増やす必要性があるか等、検討していきたい。

○片岡委員

昨日、富浦地区の地区社協で買い物ツアーを行ったが、移動手段として民間事業者のバスを使った。5、6万円支払う。娯楽的な内容ではあるが、市のバスが使えないか。高齢者の健康維持にもコミュニケーションをとるにも必要なことだと思っているが可能か。

○事務局

市バスの利用については、いろいろなところから使えないかとの相談があるが、管轄ではないので、ここではできるかどうかお答えできない。民間の営業の部分もあるので、そちらとの兼ね合いもある。どこまで市バスを利用できるかは市の内部で協議することになる。

○片岡委員

何度か申請したが、これは遊びではないかと言われた。親睦旅行は民間のバスを使っているが、健康維持のための研修と親睦と曖昧な時もある。市のバスは行って帰ってくるだけ、食事の場所も行程上にある場所と言われるが、せっかく外出するなら少し物見遊山もしたいなとも思う。今後、こういったことを含めて考えていただければと思っている。

(3) 地域包括支援センター運営分科会からの報告について

地域包括支援センター運営分科会から、分科会の議事結果について報告。

	<p>－ 質疑・応答なし －</p> <p>2 その他 なし</p>
資料	<p>報告(1) 資料「指定地域密着型サービス事業所等の指定状況について」</p> <p>報告(2) 資料「南房総市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 中間報告書」</p> <p>報告(3) 資料</p>